

## 2019年度 首都高速道路事業評価監視委員会 議事要旨

日 時：2020年2月28日（金）～2020年3月6日（金）

※昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、会議形式ではなく  
持ち回り開催

出 席：委員長 石田 東生（筑波大学 名誉教授・特命教授）  
稲垣 昇（一般社団法人 日本自動車連盟 交通環境部長）  
田中 里沙（事業構想大学院大学 学長、株式会社 宣伝会議 取締役）  
根本 勝則（一般社団法人 日本経済団体連合会 専務理事）  
山内 弘隆（一橋大学大学院 経営管理研究科 特任教授）

対 象：中央環状品川線（事後評価）

議 事：

○対応方針（案）については、事務局（案）のとおり了承された。

なお、評価内容に関する主な意見は以下のとおり。

（主な意見）

○品川線の整備により中央環状線全線が完成し、環状路線の機能が発揮された分、より大きな整備効果が表れている。ネットワークを繋ぐことの重要性は非常に大きいと感じている。

○今後の事業についても、

- ・事業の必要性などについて広域的に考えていくことが必要。
- ・整備段階から、タイミングを区切って都度の整備効果を発信することや定性的な効果の見える化（数値化）も検討されたい。

以 上